

真庭市地域公共交通会議

平成20年3月27日設置
平成21年3月25日連携計画策定



概要

9町村が合併した真庭市では、旧町村毎に相違する自治体バス、福祉バスを統合しコミュニティバス「まにわくん♡」として再編したが、路線バス撤退による代替輸送などにより自治体の財政負担が増大している。今後も、バス路線の廃止が進む中、極めて利用者の少ない路線も多く、自治体のみによる公共交通の確保に限界がきていることから、市民の合意によるシビルミニマムを策定し、自治体バスの再編や新たな運行形態の導入等により域内交通体系の再構築を目指し実証運行を行う。また、実証運行の評価・分析を行い得られた結果を計画に反映させる。

■コミュニティバス(まにわくん)の運行

撤退が想定される4条乗合バスについて、現在の運行サービス水準を落とすことのない運行管理、安全管理も含め、将来に向けて持続可能な運営形態を考え、交通事業者への運行委託する形式を採用し、平成21年10月より下記一般乗合バス系統の代替として実証運行を実施する。

- 一般乗合バス
 - 蒜山線(中鉄北部バス)
 - 新庄線(中鉄北部バス)
 - 落合線(備北バス)

■待合環境施設整備

現在のコミュニティバスにおけるバス停は、ただバス停標識を立てているのみで、雨や雪等を凌げる上屋もない状態となっており、快適性が確保されていない状況になっている。そこで、各地域の中心拠点及び系統別乗り継ぎを円滑にするため、バス停整備を実施する。

■公共交通の利用促進策の実施

総合連携計画に明記した実証期間中の施策に対する評価・検証を行うためのアンケート調査の実施、調査の分析及び総合連携計画の見直し等を実施する。

コミュニティバスの実証運行

